

平成30年東御市議会第3回定例会

招集あいさつ

(平成30年9月3日 午前9時開会)

1 はじめに

本日ここに、平成30年東御市議会第3回定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては何かとご多用の中ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

私事ではございますが、このたび右足のかかとを骨折いたしましたして、議員各位、また、市民の皆様にご心配いただいておりますことに感謝申し上げますとともに、お詫び申し上げます。

2 諸般の情勢

6月下旬から7月上旬にかけて、台風7号及び梅雨前線等の影響により西日本を中心に全国的な広い範囲で集中豪雨となった「7月豪雨」では、平成最悪の水害をもたらしました。

多くの尊い生命が失われ、多くの方々が被災されました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

避難生活を余儀なくされている多くの皆様の一日も早い生活再建を願うとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

本市におきましては、この災害への人的支援といたしまして、国からの要請に基づき、長野県と県内市町村の合同災害支援チーム「チームながの」として、7月23日から29日まで、職員1名を広島県尾道市へ派遣いたしました。

7月に行われた大相撲名古屋場所において、木曾郡上松町出身の関脇 御嶽海関が、初の幕内優勝を決めました。優勝制度が定

められた1909年（明治42年）以降、長野県出身としては初の優勝力士であり、感動いたしました。

御嶽海関は、4月の春巡業「雷電場所」の会場入り前に雷電為右衛門の墓参りに訪れたと伺っておりますし、東京・両国国技館内の相撲博物館で開催された「雷電」をテーマにした企画展をご覧いただいた際は、「基礎を固めた上での再浮上」を誓ったと報道されておりました。

天下無双力士 雷電為右衛門に続く信州出身の大関誕生に向けて、雷電生誕の地である東御市から、市民の皆さんとともに御嶽海関を応援してまいります。

任期満了に伴う長野県知事選挙は8月5日に投開票が行われ、現職の阿部守一氏が63万5千票余りの得票で3選を果たされ、9月1日から3期目の任期がスタートしました。

これからも、魅力ある長野県づくりのためリーダーシップを発揮されるとともに、今年度から始まった長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」の着実な推進が図られることを期待するものでございます。

内閣府が8月10日に発表した2018(平成30)年4月～6月期の実質国内総生産（GDP）は、年率1.9%と2四半期ぶりのプラス成長となりました。賃上げ効果等で個人消費が持ち直したことが要因となっております。

県内の4月～7月の経済情勢は、「回復しつつある」との判断が2期連続で据え置かれました。個人消費が引き続き持ち直し、生産活動が緩やかに回復している状況が続いております。

平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」に基づく、「人づくり革命の実現と拡大」や「地方創生の推進」等の「力強い経済成長の実現に向けた重点的な取

組」を見定めながら、市政を運営してまいります。

次に、本市の動きの中の主な行事や活動について申し上げます。

(ブロック塀撤去)

6月18日に発生した大阪北部地震で、小学校のブロック塀が倒壊する事象が発生いたしました。

このことから、本市においても、市内公共施設のブロック塀の安全点検を行いました。

その結果、建築基準法に適合しないブロック塀が、西宮集会場と東部クリーンセンター不燃物集積場の2箇所で確認されたため、撤去を行うなど適正な対応をしております。

(小中学校等における暑さ対策)

この夏の記録的猛暑への対応につきましては、各保育園、小中学校等において、それぞれ独自に対策を講じてまいりました。

昨今の異常気象を踏まえ、今後の猛暑対策として、小中学校のエアコン設置につきましては、既に今年6月に国へ平成31年度の補助事業として要望書を提出しており、事業採択後の速やかな設置に向けた準備を進めております。

併せて、保育園、児童館につきましても、来年の夏までに、計画的に設置してまいります。

保護者や子どもたちが安心できる保育環境と、健康的で良好な学習環境の整備に努めてまいります。

(モルドバ共和国オリンピック組織委員会来訪)

7月4日から6日まで、ホストタウンの相手国であるモルドバ共和国のオリンピック組織委員会関係者が、2020東京オリンピッ

クに向けた事前合宿の視察に訪れました。

市内のスポーツ施設や宿泊施設の見学などを行い、事前合宿や選手との交流に関する覚書を調印しました。

また、保育園・小中学校への訪問や市民交流会を開催し、モルドバ共和国を知っていただく機会となりました。ホストタウン事業を通して、市民の国際感覚の醸成や東御市の国内外へのPRにつながることを期待しております。

(まちづくり懇談会)

6月26日から7月5日までの期間、5地区において開催したまちづくり懇談会では、各区や各種団体の役員の皆様をはじめ、一般市民の皆様にも参加をいただき、地域の課題や地域ビジョンの実現に向けて、活発な意見を交わすことができました。

今年は、第1部で、「平成30年度の市政運営について」、及び「事前質問に対する市からの回答」の他、前年度にいただいた意見・要望等に対する進捗状況の報告もあわせて行うよう改めました。

また、第2部においては、地区区長会及び地域づくり協議会が中心となり、各地区で懇談テーマを定め地域が主体となって住民相互の意見交換を実施しました。

まちづくり懇談会を通して地域の課題等を共有し、地域と行政がより良い協働関係を築く中で、引き続き今後の地域づくりに取り組んでまいります。

(7月10日柵津地区豪雨災害)

7月10日夕刻に、柵津地域で発生した集中豪雨により、柵津御堂地区の県営畑地帯総合土地改良事業の工事現場から、大量の土砂が流出し家屋や農地等に浸水被害を発生させてしまい、大変ご

迷惑をおかけしました。被害にあわれた皆様、地域の皆様に心よりお詫び申し上げます。また、浸水被害等の対応や土砂撤去の作業にご尽力いただいた皆様には、お詫びとともに深く感謝申し上げます。

今回の事態を受け、工事期間中の排水対策を見直し、新たな対策を講じたところですが、今後同様な事態が起きないように、県と共に対応してまいります。

(雷電まつり ―東御どすこいSUN SUN― の中止)

7月28日の開催に向けて準備を進めておりました「2018雷電まつり 東御どすこいSUNSUN」は、台風12号の接近による悪天候が懸念されたことから、開催日前日に中止の決定をさせていただきました。

開催準備を着実に進めていただいていた中での苦渋の決断でありましたが、来場者の安全と災害時対応の想定を最優先としたことは、多くの皆様にご理解をいただけたものと考えております。

(湯の丸高原ランニングカーニバル)

7月22日には、市の陸上競技協会主催の「ランニングカーニバル」が湯の丸高原の全天候型400mトラックで開催され、タイムトライアルのほか、北京オリンピック銅メダリストの塚原直貴さんによるランニング講座もあり、市内外から200名以上の参加者が集まる盛大なイベントでございました。

本年度から供用を開始した、400mトラックや湯の丸高原荘をはじめとする「スポーツ交流施設」につきましては、陸上競技の高地トレーニングを目的に、利用可能な11月までの利用者は、宿泊が延べ5,200泊、日帰り6,200人が見込まれ、当初の目標をはるかに上回る実績が確実にとなっております。

スポーツ交流施設につきましては、本市最大の観光地である湯の丸高原の新たな誘客資源として、スポーツ合宿による施設利用が多くはなりますが、市民ランナーが集うイベントの開催やウォーキング教室などを開催してまいりますので、スポーツと健康づくりに親しむ場として広く市民の皆様にもご利用いただきたいと思いますと考えております。

(佐久長聖中学校・高等学校とのスポーツ振興に関する協定調印式)

7月25日には、「東御市と佐久長聖中学校・高等学校とのスポーツ振興に関する協定」の締結式を行いました。

湯の丸高原スポーツ交流施設の整備にあたり、同高等学校陸上部の高見澤先生からご助言をいただいた縁もあり、協定となったもので、本市が行うスポーツ振興施策、スポーツツーリズム事業や、佐久長聖中学校・高等学校が行うスポーツ・教育プログラムに対して、お互いが連携・協力することで、相互の発展と人材の育成を目的とするものです。

本市としましては、湯の丸高原スポーツ交流施設の活用を通じて、地域の人材育成に貢献できるとともに、施設の魅力が更にアップすることに繋がると期待するところでございます。

(保育園における腸管出血性大腸菌O26の集団感染発生)

市内保育園1園におきまして、腸管出血性大腸菌O26の感染症が発生いたしました。8月4日に上田保健所から感染者の報告を受け、この保育園では保健所の指導により衛生管理に努めるとともに、感染拡大防止のため、施設を休園して対応いたしました。

感染者は8月14日現在、園児19人と職員1人の計20人で、感染源は特定できておりません。

その後、感染は拡大しておらず、盆明けの翌週20日から保育園

を再開いたしました。

今後とも徹底した衛生管理を行い、予防に努めてまいる所存でございます。

(平和祈念式)

「終戦の日」の8月15日、議員各位をはじめ関係の方々や一般市民の皆様のご出席のもと、平和祈念式を行い、恒久平和への誓いを新たにし、戦没者への追悼を行いました。

式の中では、中学生による命に対する思いが込められた作文の朗読が行われ、平和と人権に対して今一度考え直すきっかけとする事ができました。

また、非核、平和、不戦の誓いととともに、希望に満ちた平和な東御市を築くことを、改めて決意いたしました。

(東御ワインフェスタ2018)

東御ワインクラブ主催の東御ワインフェスタ2018が、9月1日にJA信州うえだ東御支所ラ・ヴェリテ前特設広場にて開催されました。

このワインフェスタは、地域のワイン振興並びに販路・消費拡大を目的として平成24年度から始まり、今年も市内外から約1,600名の大勢のワインファンが来訪されました。

今年は、地元ワイナリーのほか、オリンピックホストタウン相手国のモルドバ共和国からもワインの出店があり、ワインと地域の食材を一緒に味わっていただき、東御市ならではのワインと食のマリアージュ〔組み合わせ〕を楽しんでいただけたものと確信しております。

(防災訓練)

9月2日に、集中豪雨と地震の複合災害を想定した東御市防災訓練を実施しました。

近年多発する大規模災害が、本市においてもいつ発生するか分からないとの認識から、実践的な訓練として、モデル区を設定した公民館の避難所開設訓練を行ったほか、各区による隣組を中心とした安否確認などを含めた避難訓練や、市による情報の発信・伝達・収集訓練などを行いました。

今後もこうした訓練や啓発活動を通して、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図るとともに、市の防災体制に万全を期してまいります。

(生ごみリサイクルシステムづくり)

昨年12月1日から、第1段階として田中・滋野地区で生ごみの分別収集を開始しております。

また、この10月1日からは、第2段階として祢津・和地区でも生ごみの分別収集を開始いたします。

今後も市民皆様との協働により、生ごみリサイクルシステムづくりを進め、「資源循環型システムの実現」を目指してまいります。

3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(1) 平成30年度補正予算の専決処分の承認

議案第60号「平成30年度東御市一般会計補正予算（第3号）」につきましては、法の定めにより7月11日に行った専決処分について、地方自治法の規定に基づき議会に報告し、承認をお願いす

るものでございまして、7月10日の豪雨災害による被害に早急な対応をする必要があったことによる事業費等の補正でございします。

(2) 平成29年度決算

議案第61号から議案第69号まで、平成29年度の各会計の決算について申し上げます。

平成29年度の東御市一般会計におきましては、緩やかな景気の回復に伴う個人所得の増加により個人市民税が増額となり、固定資産税も家屋の新たな増築や償却資産の新規課税等により増額となりましたが、昨年度における法人市民税の一時的増加分が今年度減少した影響で、市税全体では前年度に比べ5.4%の減収となりました。

このような状況の中で、財政の健全化に努めながら、重点施策である「循環型社会形成推進交付金事業 生ごみリサイクル施設建設事業」や「社会資本整備総合交付金事業 県地区整備事業」、地方創生拠点整備交付金を財源とした北御牧庁舎市民交流サロン等整備事業や湯の丸高原施設整備推進事業を実施いたしました。

平成28年度からの繰越事業につきましては、生ごみリサイクル施設建設事業、小学校トイレ修繕事業、湯の丸高原施設整備推進事業などの施設整備事業のほか、県地区整備事業などの道路整備事業を実施してまいりました。

また、各特別会計、公営企業会計におきましても、ほぼ順調な事業運営がなされ、地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計を除いては、いずれも黒字の決算となりました。

これもひとえに、議員各位をはじめ市民皆様方の格別のご理解

とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます。

なお、昨年から取り組んでおります病院事業における、厚生連鹿教湯三才山リハビリセンターとの連携協議につきましては、今後も継続して地元医師会や地域の皆様、長野県などと合意形成を図りながら、持続可能な病院事業の構築に向け取り組みを強化してまいります。

各会計の詳細な決算状況につきましては、後ほど副市長及び担当部長等から申し上げますので、私からは一般会計決算につきまして、その概要を申し上げます。

平成29年度の一般会計予算は、当初145億円でスタートしました。その後、10回の補正を行い、前年度からの繰越明許費を加えた最終予算額は168億5,139万円となりました。これは前年度に対し3億8,560万円、率にして2.2%の減となっております。

歳入決算額は163億6,412万円で、前年度に対し2億9,890万円、率にして1.9%の増となり、歳出決算額は158億7,427万円で、前年度に対し4億4,691万円、率にして2.9%の増となりました。

歳入歳出の差引額は4億8,985万円となり、30年度への繰越明許費の繰越財源を除いた実質収支は3億6,669万円の黒字決算となりました。このうち、1億8,335万円を地方自治法等の規定により、財政調整基金へ繰り入れることといたしました。

一般会計の市債残高につきましては、29年度に新たに13億4,990万円を借り入れ、15億8,336万円を返済したことから、29年度末の起債現在高は199億6,784万円となり、対前年度比2億3,346万円の減となりました。

また、基金残高は48億2,018万円となり、前年度に比べ8億

4,328万円の減となりました。

なお、財政健全化判断比率につきましては、将来負担比率について、前年度と比較して10.7ポイント上がりましたが、すべての指標とも国の基準以内となっており、財政の健全性は維持されている状況であります。

(3) 平成30年度補正予算

議案第70号から議案第73号の4件は、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計に係る補正予算でございます。

まず、議案第70号「平成30年度東御市一般会計補正予算（第4号）」でございますが、歳入歳出予算にそれぞれ1億8,733万円を追加いたしまして、総額を151億1,196万3,000円といたすものでございます。

その主なものとして、御堂地区関連排水路整備工事費、商工業振興助成事業補助金、経営体育成支援事業補助金、湯の丸高原全天候型400mトラック排水対策工事費などの増額補正をお願いするもので、国、県の補助金や純繰越金等を財源として充当するものでございます。

また、暑さ対策としまして、市内3保育園に対する空調設備設置工事費と7小中学校に対する空調設備設置工事実施設計委託料をお願いするところでございます。

なお、残る2保育園の空調設備につきましては来年の夏までに、市内全小中学校につきましては、国の補助金がつき次第設置する予定でございます。

議案第71号「平成30年度東御市国民健康保険特別会計補正予算

(第1号)」は、退職者医療療養給付費等交付金過年度精算返還金の増額補正をお願いするものでございます。

議案第72号「平成30年度東御市介護保険特別会計補正予算（第1号）」は、過年度介護保険給付費精算金等の増額補正をお願いするものでございます。

議案第73号「平成30年度東御市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」は、保険料還付金の増額補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から提案の説明を申し上げます。

(4) 条例の新設及び一部改正

続きまして、条例関係等の議案につきましてご説明申し上げます。

議案第74号及び議案第75号につきましては、市内温泉施設の料金改定等を行うにあたり、条例の一部改正を行うものでございます。

議案第76号につきましては、丸山晚霞記念館に地方自治法に基づく指定管理者制度を導入するにあたり、条例の一部改正を行うものでございます。

議案第77号につきましては、国の法令改正に伴う条例の一部改正であります。

(5) 事件案件

議案第 78 号につきましては、湯楽里館ワイン&ビアミュージアム整備工事の請負契約にあたり、地方自治法及び条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第 79 号及び議案第 80 号の「市道路線の認定・廃止」につきましては、道路法の規定に基づき、議会の議決をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明を申し上げます。

(6) 人事案件

次に、議案第 81 号及び議案第 82 号につきましては、人事案件として、人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法の規定に基づき議会の意見を求めるものでございます。

詳細につきましては、後ほど副市長より申し上げます。

本定例会に提案します議案の概要は、以上のとおりでございます。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をいただき、承認、認定、ご同意及びご決定を賜りますようお願い申し上げます。

4 むすびに

市政を運営する上で、限られた貴重な財源をいかにして市民生活のために、また、東御市の将来のための事業に活用していくかが重要であります。

かねてより準備しておりました小中学校、保育園等への空調設備の設置は、待ったなしの状況にあります。

また、少子高齢化において高齢者に必要な生活支援をお届けする

ためには、従来の継続事業を見直し、市民サービスや不採算事業の適正化を図るとともに、持続可能で生き残れる地域として、地方創生を成し遂げなければなりません。

そのため、断腸の思いで事業の取捨選択を進めてまいります。

市民の皆様には、受益者負担の適正化をさせていただくなど、東御市の置かれている現状にご理解賜りたく、お願い申し上げます。

松代藩の家老で財政危機の立て直しをした恩田奎先生や、小田原藩の財政再建をした二宮尊徳先生の足元にも及びませんが、「米百俵」を論じた小林虎三郎先生の教えを大切に、声なき声に耳を傾け、誠心誠意取り組んでまいります。

市民の皆様並びに議員各位の格別なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集のあいさつといたします。

平成30年9月3日

東御市長 花岡 利夫